

出猟カレンダー等 ご記入のお願い（今年より一部様式が変わります。）

いただいた情報は、県の狩猟制度の調整や有害捕獲等に反映させていきます。
適切な野生動物の保全と管理のためには、みなさまのご協力が必要です。どうぞよろしくお願いします。

1 捕獲カレンダー（シカ・イノシシ以外の全ての鳥獣）
生息動向調査

アライグマなど、他の鳥獣による課題も大きくなってきました。
より正確な状況を把握し、適切な対策を進めるために、ご協力をお願いします。

捕獲カレンダー 記入例

シカ、イノシシ以外の鳥獣を捕獲された時は、その都度ご記入ください。

日付	メッシュ番号	捕獲場所 (市町・地区)	鳥獣名	捕獲数			猟具
				オス	メス	不明	
11/15	1 0 4	〇〇市△△町××	マガモ	0	2	0	網・わな 装薬銃・空気銃
11/15	1 0 4	〇〇市△△町××	キジバト	0	0	3	網・わな 装薬銃・空気銃
11/15	1 0 4	▽	アライグマ	1	0	0	網・わな 装薬銃・空気銃
11/15	1 0 4	▽	タヌキ	2	0	0	網・わな 装薬銃・空気銃
11/20	1 0 4	〇〇市△△町××	ヤマドリ	1	0	0	網・わな 装薬銃・空気銃
11/20	0 9 1	〇〇市□□町▽▽	カラス	2	3	1	網・わな 装薬銃・空気銃

日、場所、捕獲した鳥獣ごとに
行を変えてご記入ください。

「兵庫県鳥獣保護区等位置図」の
メッシュ番号をご記入ください。

※ 捕獲数は数字を入れてください。
※ 同行者があるときは、捕獲数が重複しない
ようにご記入下さい。

生息動向調査 記入例

増減の傾向をよくご存じの獣と場所があれば、お教えください。
(このページは、猟期終了後に
ご記入ください。)

捕獲カレンダーの →
後半にあります

鳥獣名	増えたメッシュ	減ったメッシュ	変わっていないメッシュ
ノウサギ	1 1 4、1 1 5	1 3 4	1 2 2
カワウ	1 1 3		1 1 4
キジバト	1 1 4		

リストにない鳥獣についてご存じの場合は、
空欄に鳥獣名をご記入ください。
狩猟鳥獣以外でも結構です。

「兵庫県鳥獣保護区等位置図」の
メッシュ番号をご記入ください。

2 出猟カレンダー（シカ・イノシシ）
わな猟用

わな猟用 記入例

わなの設置や撤収、シカ・イノシシの捕獲をしたら、その都度ご記入ください。
また、メッシュごとにページをかえてご記入ください。

これまでとは書式が変わっています。ご注意ください。

「兵庫県鳥獣保護区等位置図」のメッシュ番号をご記入ください。

メッシュ番号			市町・地区					
104			〇〇市△△町××					
日付	新規設置 わな数	解除、撤収 わな数	稼働中の わな数	捕獲数				備考
	くぐり 箱・囲	くぐり 箱・囲	くぐり 箱・囲	シカ		イノシシ		
				オス メス	オス メス	オス メス		
11/15	151	00	151	00	00	00		
11/17	00	20	131	00	00	10		
11/18	00	00	01	01			その日に、捕獲のあった数をご記入ください。	
11/19	00	00	151	00	00			
12/7	00	00	20	00	00	00		
12/8	00	20				1	設置や撤収の結果、稼働中のわな数をご記入ください。	

その日に、設置や撤収をした
わな数をご記入ください。

その日に、捕獲のあった数をご
記入ください。

設置や撤収の結果、稼働中の
わな数をご記入ください。

3 出猟カレンダー（シカ・イノシシ）
銃猟用

シカ及びイノシシの銃猟に出られたときは、目撃や捕獲の有無にかかわらず、出猟日とメッシュ番号をご記入ください。

様式はほぼ例年通りですが、同行者数の欄のご記入も
お願いします。

兵庫県 森林動物研究センター

Wildlife Management Research Center, Hyogo
<http://www.wmi-hyogo.jp>

2007年
兵庫県 出猟カレンダー 結果報告
報告いただいたデータが活かされています！

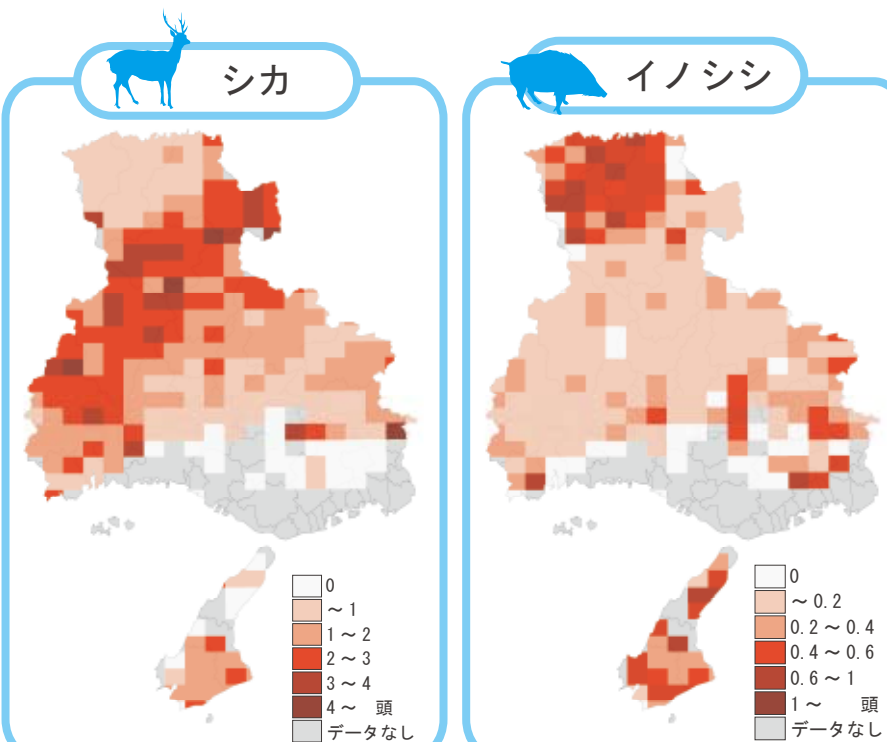


● 兵庫県に登録の狩猟者の皆様へ ●

毎年「出猟カレンダー」等の調査にご協力いただき、ありがとうございます。
集計した情報は、県の狩猟制度の調整や被害対策のための基礎資料として活用させて頂いています。
ご協力のお礼もかねて、最新の集計結果を紹介させて頂きます。
みなさまの猟にも参考になれば幸いです。



シカ・イノシシの生息状況
(1人1回出猟あたりの目撃頭数)

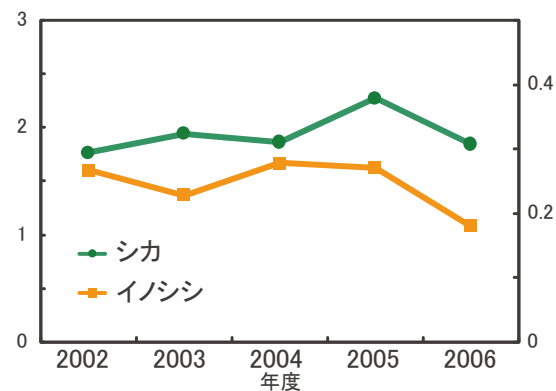


これまで増加傾向だったシカが、減少傾向になりました。特定鳥獣保護管理計画ではシカの個体数の低減を目標にしていますが、みなさまの捕獲の成果も出てきたようです。

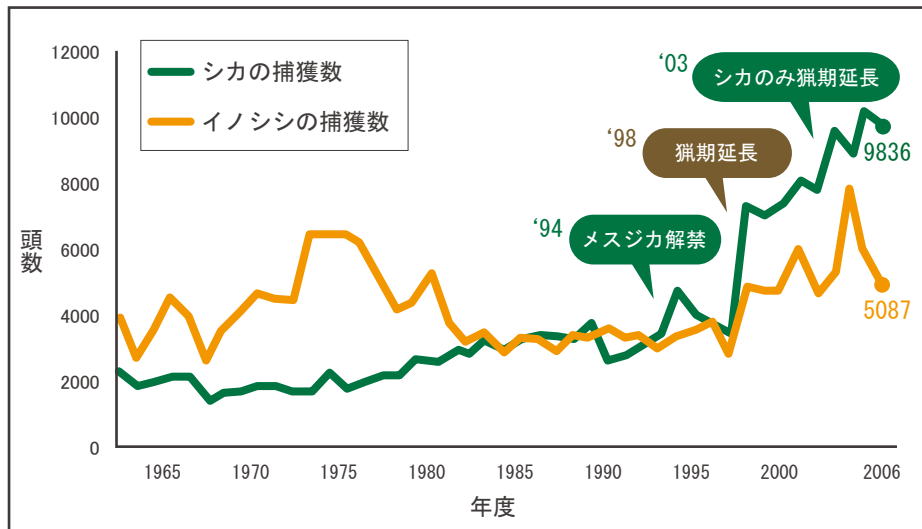
イノシシも減少しています。狩猟資源の保全にも考慮が必要です。

(ただし、これらの結果には積雪の影響もあるようです。次頁以降をご覧ください。)

目撃効率の変化



狩猟による捕獲数の変化

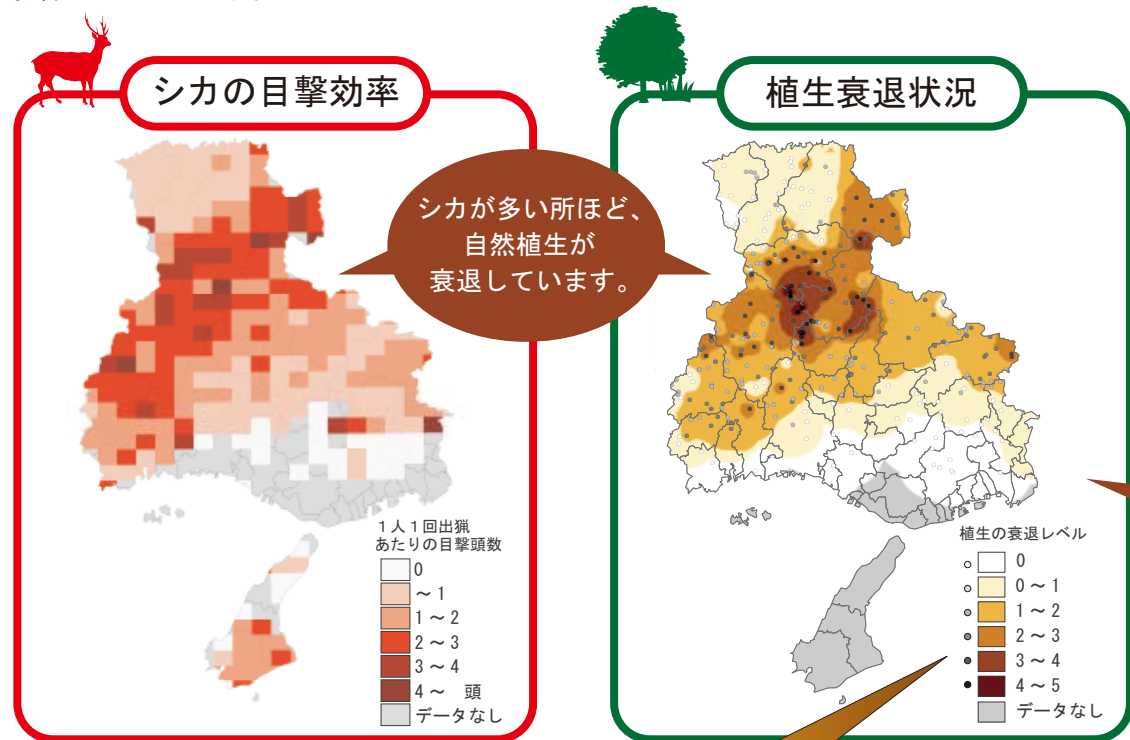


狩猟によるシカの捕獲数は、みなさまの努力のおかげで高い水準で維持されています。シカの個体数を減らすためには、継続した捕獲が必要です。今後ともご協力をお願いします。

一方、イノシシの捕獲数は、ここ2年連続で減っています。

シカの食害による自然植生の衰退

シカの多い地域では、シカの食害による自然植生への影響が深刻になりつつあります。自然植生の衰退した場所では、イノシシの目撃効率が減少する傾向にあり、他の野生動物の生息への影響も心配されます。



積雪と捕獲効率との関係

2005年は雪が多く、2006年は雪の少ない年でした。それにあわせて、捕獲の効率も変わっていました。雪の多い年は、獲物を見つけやすく、捕獲効率も上がるようです。

一方で、雪の少なかった2006年は、捕獲効率が下がっています。その原因としては、

- ・雪がないために見つけにくい
- ・前年の捕獲で数が減った
- ・前年の雪や寒さで数が減った

などが考えられます。

イノシシについては、捕獲効率や目撃効率が下がっている地域では、慎重な管理が必要になります。

みなさまからの情報とあわせて、気象条件なども考慮し、野生動物の保全と管理の方針を検討していきます。

